

# 株式会社エフエム茶笛

## 平成 26 年度第 4 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成 26 年 9 月 25 日（木）17 時 00 分～18 時 00 分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：6 名

出席委員数：3 名

出席委員：大山博（番組審議会委員長） 佐藤智 飯島静江

放送事業者側出席者：専務取締役 東 たか子

放送局次長 宮岡 洋明

技術制作係長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

前回の審議会での審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置に関する報告に続き、議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

## 6. 審議内容

委員長：

これより各委員からご意見をいただきます。

委員：

8月24日（日）の入間市防災訓練の特番を聴きました。私は訓練に参加出来なかったので、自宅で聴いていました。訓練の様子が良くわかり、割込み放送等もあり、忘れがちな防災意識を確認させられました。防災だけではなく、入間市では交通事故や振り込め詐欺、全国では盲導犬に関する事件やお子さんの誘拐事件など起こっています。番組の中で狭山警察署員からの啓発や盲導犬に関する話題を採り上げていますが、会話形式を採り入れるなどの形式があっても楽しいのではと思います。

委員：

入間市防災訓練には、私も参加しながらFMチャッピーを聴いていました。可搬型の機材を持ち込んだ災害対策本部からの生中継と、本社スタジオからの生中継が非常に良くできていて、刻々と災対本部に入ってくる情報をリアルタイムに伝えていました。いつ何が起こるかわからない災害に対しての緊急編成にも関わらず、災害時の適切な情報の提供が、小学校等の訓練会場からの生中継など次々に場面を切り替えながら盛り込まれていた緊張感のある番組編成でした。地元の身近なコミュニティ放送の役割を十分に発揮されて、非常に力強く感じました。

また、8月号のフリーペーパー「月刊茶笛」では、「防災豆知識」の特集を組んでいて、今後の番組の充実にも期待できると感じました。

委員：

この夏、夏まつり会場でFMチャッピーのうちわを持って歩く人達を見かけました。「チャリティうちわキャンペーン」については、FMチャッピーと協賛企業のPRのように思っていたのですが、今年は宮岡さんの声で頻繁に、チャリティのテーマを設けて被災地の子どもたちの支援に役立っているということを知りました。これまで気づかなかったが、今年は放送を通して知ることが出来ました。こうした支援活動を通してFMチャッピーに周波数を合わせる人も増えると思います。来年もうちわを持った皆さんの笑顔に会えますように、よろしくお願い致します。

委員：

「おとなのパスポート」「月刊チャッピー増刊号」で放送していた企画『子ども放送局』では、子供の視点や小学生の日常の会話で和やかな気分になりました。子どもたちへのインタビューで「放送ではどんなことに気を付けていましたか？」という質問に対して、「皆さんに聴きやすくゆっくり話しました」「皆さんに楽しんでもらえるように気を付けました」と話している男の子がいましたが、この2点はラジオ放送の要点を捉えていて、出演していた子どもたちは、小学生なりに実行できていたと思いましたし、聴いていても聴きやすかったです。これに関連して気になる番組が土曜の朝の「おやこでわいわい」で、先程の児童が挙げた2点を考えていただきたいと思います。番組には進行役とゲストがいるようですが、どちらが進行役なのか伝わ

らず、役割をはっきりとした方が良い番組になると思います。また、「おやこでわいわい」という番組名ですので、時には子供たちが出演して子供の新鮮な感性を引き出すような会話があっても良いと思います。

事業者：

関係スタッフへ指導致します。

委員長：

放送番組は年々充実してきて良いと思います。欲を言えば、パーソナリティの更なる充実です。話し方に気になるところが無いわけではありません。しかしながら、以前に要望を挙げさせていただいた、一部パーソナリティによる「だそうです」の言い回しの多用は完全に治っているのが良かったです。

委員：

先日、黒須中学校の生徒さんが第44回全国中学校相撲選手権大会で優勝後、高知から入間へ帰ってきた際、そのままスタジオに来て生放送に出演していました。生徒の皆さんのお話には恥じらいが感じられましたが、優勝した直後の熱気が感じられました。一緒に出演されていた監督からは、優勝には強い意志・団結力・地域の皆さんの協力があつたこと、土俵上では優勝しただけではなく立派な態度だったことについてのお話がありました。ケーブルテレビや新聞でも採り上げられていましたが、それらに比べて、FMチャッピーの放送では、ただ単に「おめでとう」だけではなく、様々な要素が関わっての優勝だったことを伝えていて、コミュニティ放送ならではの取り組みが出来ていて良かったと思います。

委員長：

出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

## 7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
「おやこでわいわい」出演者の役割分担の明確化	番組制作に携わる市民ボランティアスタッフへ指導。	平成26年10月1日

## 8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

- ・10月2日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。

## 9. その他の参考事項

特にありません。

以上

社名	株式会社エフエム茶笛
----	------------